



緑町第2団地

第9回臨時会(11月22日)

■徘徊高齢者搜索模擬訓練

認知症高齢者やその家族を地域で見守る体制づくりや、認知症高齢者等SOSネットワークの活動強化のため、関係機関や町民の参加により開催しました。訓練は、高齢者が行方不明になった状況を寸劇で演じた後、旭町地区を対象に数人のグループに分かれ、メール配信システムからの情報をもとに徘徊高齢者を探し、発見したときの声かけなどの訓練を行いました。今後とも、だれもが安心して暮らせるまちづくりに取り組んでいきます。

■北海道地域住宅協議会公的賃貸住宅団地表彰(北の地域住宅賞)

平成23年度建設の特定公共賃貸住宅緑町第2団地が、2013北の地域住宅賞団地表彰「奨励賞」を受賞しました。この賞は、少子高齢化対策・まちなか居住・環境に配慮した良好な住環境の形成やまちづくりへの寄与など、先進的でモデルとなる取り組みを行っている優れた団地を対象に

表彰されるものです。その他報告された事項

■寄附 ■防災訓練 ■南ア

ルプス市市制施行10周年記念式典 ■第3回つべつ産業まつり ■青少年海外研修派遣事業 ■第6回つべつリーダーセミナー ■東京つべつ会 ■グレンステンスキー場 ■温水プールすいむの利用状況 ■ふれあいパークゴルフ場の利用状況 ■スポーツ合宿の状況 ■平成25年度津別町功労者・善行者表彰式並びに町長顕彰表彰式 ■南アルプス市「ありがとう・心あつたか祭り」

第10回定例会(12月17日)

■本岐小学校開校100周年記念式典

明治42年3月14日の開校から100周年の記念式典及び祝賀会が、12月1日、盛大に開催されました。

当日は卒業生・歴代校長先生及び教職員、地域の方々など関係者が出席され、祝賀会では「写真で振り返る本岐小学校」と題した映写や児童による日本民謡の踊りや器楽演奏などがあり、手作りで心温

まる催しに出席者の皆様は心を熱くしていました。この式典及び祝賀会のため、ご尽力いただきました協賛会、学校関係者の皆様に感謝を申し上げます。

■相生駐在所の廃止

昨年度から北海道警察本部より廃止の意向が示され、地域とともに存続への要請を行っていましたが、12月5日、美幌警察署長より正式に廃止の連絡を受けました。内容は平成26年4月に本岐駐在所と統合し、同駐在所が2人体制になるとのことです。町としても相生地域に与える影響ができる限り少なくなるよう、引き続き支援をしていきます。

■平成25年度優れた「地域による学校支援活動」推進にかかる表彰

教育委員会の所管事業の放課後子ども教室「アソビバ! つべつ」の活動が、文部科学大臣賞を受賞しました。

この賞は、未来を担う子どもたちを健やかに育むために、学校、家庭、地域が連携協力し、地域全体で子ども



さまざまな事業を実施しているアソビバ!つべつ

ちの教育活動を支援する活動のうち内容が特に優れ、他の模範と認められるものを表彰するものです。今後とも関係機関のご協力、ご指導のもと、子どもたちの幅広い活動を通じて健全育成に向けた支援を行ってまいります。

その他報告された事項

■寄附 ■障がい者福祉サービスの特別加算 ■反射材でつなぐオホーツク街道交通安全全びかつと作戦 ■まちづくり懇談会 ■認定こども園建設に伴う要望書 ■津別町史編さん委員会の設置 ■建設工事等の発注状況

## 常任委員会 特別委員会



町内視察で緑栄橋を視察

### 総務文教常任委員会

#### 第6回（11月7日）

- ・町内視察結果について
- ・一般廃棄物最終処分場について

#### 第7回（12月3日）

- ・宿泊体験交流施設の整備について
- ・職員の修学部分休業に関する条例の一部改正について
- ・職員の高齢者部分休業に関する条例の一部改正について
- ・廃棄物の処理及び清掃に関する条例の一部改正について

### 産業福祉常任委員会

#### 第7回（11月8日）

- ・町内視察結果について
- ・宿泊体験交流施設の整備について

#### 第8回（12月4日）

- ・町有住宅料等の見直しについて
- ・21世紀の森運営基金の設置、管理及び処分に関する条例の制定について
- ・公園条例の一部改正について
- ・新ふるさと定住促進条例に基づく住宅改修の受付期間について
- ・国民健康保険税条例の一部改正について
- ・福祉灯油等購入費助成事業の実施について

### 議会運営委員会

#### 第13回（11月20日）

- ・第9回津別町議会臨時会の運営について
- ・平成24年度各会計決算の認

### 津別小6年生が 議会を傍聴

12月17日からの第10回定例会の第1日目を、児童29人が傍聴（表紙写真）しました。

議場を真剣なまなざし



開会前、鹿中議長から説明を受ける子どもたち

### 議会傍聴のご案内

会議当日の受け付けで傍聴できます。

議会日程は、

- ・議会事務局 76-2151 内線266
- ・ホームページ

<http://www.town.tsubetsu.hokkaido.jp/>  
ご確認ください。

で見つめる子どもたちに、議員、町長とも、いつもにも増して緊張感を持って議会に臨んでいたようです。

子どもたちは、議員の質問や町長の答弁に耳を傾け、熱心にメモを取るなどしていました。

子どもたちからは、「一つのことを決めるために、あんなに話し合いが行われていたり、深めていたりしていると知らなかった」「議会というのは、狭い部屋で黒板の前に長い机でやるのかと思っていたので、予想外でびっくりした」などの感想が聞かれました。

# 議会日誌

## 10月

- 23日 決算審査特別委員会
- 25日 北網ブロック町議会議員研修会（斜里町）
- 27日 東京つべつ会総会（東京都）

## 11月

- 7日 総務文教常任委員会
- 8日 産業福祉常任委員会
- 13日 町村議会議長全国大会（東京都）
- 20日 議会運営委員会
- 21日 北網ブロック市・町議会正副議長会議（北見市）
- 22日 第9回津別町議会臨時会  
第8回全員協議会
- 29日 第4回議員自主研修会

## 12月

- 1日 本岐小学校開校100周年記念式典及び祝賀会
- 3日 総務文教常任委員会
- 4日 第9回全員協議会  
産業福祉常任委員会
- 11日 議会運営委員会
- 17～18日 第10回津別町議会定例会
- 17日 第10回全員協議会

## 1月

- 3日 新年交礼会
- 16日 議会広報特別委員会

### 平成26年度地方財政の確立を求める意見書

◆提出先 内閣総理大臣、他関係4大臣等

日本型直接支払制度の創設及び経営所得安定対策等の見直しに関する意見書

平成26年度畜産物価格決定等に関する意見書

◆提出先（上記2件） 衆議院議長、参議院議長、内閣総理大臣、他関係2大臣

# 意見書

関係行政庁へ  
提出しました

### 利用者本位の持続可能な介護保険制度の確立を求める意見書

#### 【要旨】

1. 要支援者を「新しい総合事業」に移行することは、個人給付を大きく変容させるものであり、また、給付水準や負担額の格差が自治体の財政力などによって今まで以上に拡大する恐れがあることや、介護サービスの安定供給に懸念があるため、現行の予防給付を維持すること。
2. 予防給付は、介護の重度化防止という観点から有効であり、自立支援効果の期待できる予防給付が行われるようケアマネジメントを強化すること。
3. 一定所得以上者の介護保険利用料2割負担は、引き上げによって大きな影響が生じることから、基準の設定については、長期的・継続的負担となることを考慮した所得要件とすること。
4. 特別養護老人ホームにおける補足給付の支給要件に資産を追加する際には、実態を把握した上で資産捕捉の確実性や公平性の確保、さらには保険者の事務負担を十分に考慮し検討すること。
5. 介護人材の確保は、働き続けることができるよう介護労働者を安定的に確保するためのロードマップを示し、処遇改善及び人材育成・確保への財政措置を含めた施策を講じること。
6. 地域包括ケアシステムの推進にあたって、24時間定期巡回・随時対応サービスなどの現状を検証し、改定・改善策を進めること。

◆提出先 内閣総理大臣、総務大臣、財務大臣、厚生労働大臣

### 森林・林業・木材産業施策の積極的な展開に関する意見書

◆提出先 衆議院議長、参議院議長、内閣総理大臣、他関係8大臣

## は ぐ る ま

広報委員に復帰して他の自治体の議会報を拝見することが多くなりました。感じることは、住民参加型の広報が増えてきたということです。津別町の議会広報も紙面刷新のときかもしれません。ただ広報だけを変えないのではなく、町議会として町民の皆様への、情報公開の形を変えていく必要があると思います。インターネット中継の導入や、議会主催の町政報告会など、いくつかの考えが議員同士で話し合われています。

議会の広報として大切なことは、「わかりやすい」ということだと思います。条例改正の内容ではなく、それが住民生活にどう関係してくるかを伝えることができないかと思えます。委員会の開催回数ではなく、そこで何が話し合われたか、どんな方向性が出たのかを伝えることができるのかなと思います。

この広報が皆様のお手元に届くころには、議員研修の公開講座である「議会改革プログラム」が行われているはずです。内容については、3月中に議会報の臨時増刊号を発行する予定です。

（佐藤）

## 歯 車